

平成30年度 環境活動スタートプロジェクト事業

1 実施校

福島大学附属中学校

2 実施日

平成30年 7月11日(水)

3 講演会の様子

1学年を対象に、環境をテーマに、6コースのテーマ別学習の中の1つとして温暖化をテーマに、福島地方気象台調査官である安田宏明氏を講師として実施しました。



4 講演を聞いての感想

- 今回の講義を受けて地球温暖化への関心がより深まり、地球全体にふれあえたと思いました。
- 今回の講演を受けて、地球温暖化防止に関するイベントに参加したり、節電をするなど、少しでも協力したいと思いました。
- 私たちの生活で今のように生活することはできなくならないようにまわりを考えて、よりよい環境になるようにしていきたいです。
- 学んだことを生活に活かし、地球全体の問題を解決するために自分でもできそうな省エネを実行していきたいです。

※次のページへ進む

- 地球温暖化は温室効果ガスが増えるせいで起こっていますが、温室効果ガスがなくなってしまうと-1.9℃になってしまうなど、地球の仕組みを知ることができた。
- 人間が原因で、地球温暖化が起きていることがわかった。
- 地球温暖化の重大性を改めて実感しました。
- 地球温暖化が進むことで福島のフルーツも悪くなってしまうことから、自分たちでできる事は、率先して行いたいと思った。
- 私たちができる事は、本当にすぐできることだったのでやろうと思う。
- 講義を受ける前より地球温暖化について興味が湧いてきた。一番印象に残ったのは、将来の福島の気候の変化についてです。
- 今の私たちにできる「緩和策」と「適応策」を活用していきたい。
- とてもわかりやすく「メモが足りない」となるぐらいのしかた。
- 改めて温暖化の深刻さに気づきました。決して他人事ではないのだと思いました。
- 本気で一人ひとりが意識し、自覚を持って対策に取り組まなければならない。
- 今回の講義をきっかけに、より貢献したいという想いが強くなりました。これからは「もっと」自分から発信していきたいです。
- これ以上地球温暖化を進めてはいけないという意識がより高まりました。
- 「温室効果ガスはビニールハウスのようなもの」というのが、とてもわかりやすかった。
- これからの世界が、私たちの取り組みによってどう変わっていくのか、どうすればもっと環境が良くなるのかを教えてもらいさらに興味をもちました。
- 地球温暖化がやばいと聞いても、テレビだから視聴率を増やすためにやっているのかと思っていたら今回の話を聞いて本当に地球温暖化は危ないことがわかりました。